



日本英語交流連盟  
The English-Speaking Union of Japan

## 2016年度 第19回大学対抗英語ディベート大会

### 【英国ディベート体験ツアー】報告書

賞品 提供：日本英語交流連盟 協賛：ANA ホールディングス株式会社

早稲田大学 1 藤田信悟

皆様いかがお過ごしでしょうか。早稲田大学大学院政治学研究科の藤田信悟と申します。この度私は誉れ高き日本英語交流連盟様(ESUJ 様)主催の大学対抗英語ディベート大会で優勝し、また、株式会社 ANA ホールディング様のご協賛により 2017 年 2 月にイギリスディベートツアーに参加する機会をいただきました。私は英語交流連盟(ESU 様)のイギリス本部に伺い、東京大学の山岸君と共に ESU の William Stileman 様と ESU の意義、自分たちの将来のこと、日本の将来のこと、そして日本とイギリスとの間の違いを議題に、荘厳な雰囲気の出発間で和やかな雰囲気の中、ディスカッションをさせていただきました。学生の中に世界を股にかける ESU 様のような機関の方と討論させていただける機会をいただき、大変光栄に思いました。

観光では私はロンドン市内を中心に巡りました。ビッグベンや大英博物館など歴史的・文化的に重要な地、そしてこれからのロンドンの文化を育む若者が好むカーナビ一通りなども観光しました。旅は素晴らしいものとなり、皆様にイギリスロンドンの魅力を普段私がたくさんの情報をスピーチの中で「詰め込む」ように、お伝えしたいのですが、本報告では私が特にイギリスで印象に残ったことを二点、簡潔にお伝えしたいと思います。

まず一つは、ロンドンの人々の寛容さです。私は行く先々で人々の笑顔に触れました。カーナビ一通りで入った様々なショップの店員さん、博物館の学芸員さん、そして「写真を撮ってくださいますか？」という旅先でのありふれた交流の中でも皆さん笑顔で私に接して下さり、私は大変歓迎されているという感覚を持ちました。それに加えて、私が経験したのは世界有数の規模と歴史の名高いロンドンの地下鉄の中で日本というところのストリート・ミュージシャンのような人々が急に割と大きめの演奏を電車内でしたことです。私はその突発性と音の大きさに少し戸惑ってしまいましたが、



日本英語交流連盟  
The English-Speaking Union of Japan

周りにいる人々はたとえ自分たちの仲間たちとの会話が途切れたとしてもその演奏に耳を傾けていました。私がそこで改めてロンドンの人々は寛容であるなど感じました。寛容とはどのような意味でありうるか、と考えてみると「他者自身、および他者の行為に対して関心を持っていること、および、意義を見出していること、その上で他者の存在を認めること」であると考えることができます。その意味でイギリスの方々は皆寛容であり、素晴らしい寛容の文化をもつイギリスロンドンに尊敬の念を抱きました。

一つ目に「固い」話をしてしまったこともあって、続いてイギリスの食についてお話しします。下馬評（もうそのような下馬評は古いかもかもしれませんが）、ロンドンの食に対して私はあまり良いイメージを持ってはいませんでした。ですが、私は本場のフィッシュ&チップス、肉厚のステーキ、イングリッシュ・ブレイクファストなどの料理を堪能し、イギリス料理の理解に対する「コペルニクスの展開」を実感しました。是非とも皆様には本場のフィッシュ&チップスを食べていただきたいです。日本のバーで出てくるものが食べれなくなる弊害が出るかもしれませんが。

最後に、非常に個人的な話をして報告を締めくくりたいと思います。ESUJ 主催大学対抗ディベート大会は、私が大学でディベートを続けようとして高校生の時にその決意を固くしたきっかけをくださった大会です。高校二年生の時にアカデミック・ディベートを部活としてやっていた私は引率の先生に連れられ、本大会の見学に伺ったところ、大学生ディベーターの英語の上手さ、知識の豊富さ、社会問題に対する真摯な姿勢、そしてディベートにかける情熱をひしひしと感じました。奇遇にも私が観戦した大会で早稲田大学が優勝し、私も偉大な先輩にどうにか追いつこうと決心したことを今でも覚えています。この思い出のある大会で 2015 年大会では準優勝・Baroness Brigstocke Best Speaker Prize・予選一位通過、そして 2016 年大会では優勝・個人二位・二年連続予選一位通過という実績を残すことができたのはディベーター冥利に尽きます。また、決勝の議題「日本で定年を廃止する」は今後の日本を考える上で必ず考えなければならない社会問題であり、大会から半年ほど経った今でも考えています。2016 年大会の決勝でそれについて思索を巡らせたことは大変貴重でありました。これからも ESUJ 大会で経験した思索を無駄にせず、考え、他者と議論することで熟慮有る民主主義の構築に貢献していきたいと考えています。



日本英語交流連盟  
The English-Speaking Union of Japan

改めて、日本英語交流連盟、とりわけ吉野様には大変お世話になりました。たくさんのご迷惑をおかけしましたこと、この場を借りてお詫び申し上げます。また、株式会社 ANA ホールディング様にも素晴らしいフライトを提供していただき、感謝申し上げます。これから社会人として社会に出た際、是非とも仕事に邁進し、そして ANA 様のフライトを通じて海外に行き、リフレッシュをしたいと考えております。